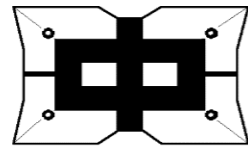




Puzzle



コミュニティ・スクールだより
R5年2月 文責 CS推進員 西川希志子



河内地域拠点活性化検討会～河内中学校～

1月27日（金）、2年生が広島大学大学院の都市・建築計画学研究室の田中教授、田村助教、同大学院生2名、東広島市地域振興部 河内支所長の尾畑さん・本越さん、河内生涯学習支援センター池本さん、you 愛 sun こうちの木原さん・古川さんにお越しいたき、河内地域拠点活性化検討会が行われました。



まず、2年生の代表3名が河内の課題や活性化のアイデアについて発表しました。発表にあたって生徒は河内町の課題を考え、その課題をどうするかアイデアを話し合い、職場体験でお世話になった事業所の方や地域の方にも話を聞いて、「今までにあったレジャー施設を発展させること。環境整備を行うこと。若い人を呼び込むための子育て支援を充実させること。」などの具体策を提案しました。



田中教授からは「今あるいい物・場所を活かしていくことや色々な人とコミュニケーションを取りながら考えたこと、自分自身が貢献できるかを考えたことがとても良かった。」と講評をいただきました。



その後、グループに分かれて広大院生をコーディネーターにワークショップを行いました。

あるグループでは「物があるから人が来るのか、人が居るから物があるのか？」という点から、河内町から何かが出来たら人が来るのでは、と考え議論していきました。



地域の方からは「子供たちは、少子高齢化による人口減少などの問題点を十分に認識している。地域の特性を活かした公園やキャンプ場などの提案は中学生らしい発想でとても良かった。何か自分たちでイベントを企画してみたら面白いのではないかなと思う。ぜひ、河内町が開催しているリバーサイドフェスティバルで実践してもらいたい。」「大学生との交流は、お互いがとても楽しそう良かったと思う。教授も話していたように、『出来ることはすぐに行動してみることが大切。』の意見に納得しました。」と話して下さいました。



調べて伝える広島空港 ～河内小・入野小学校～

1月30日（月）、入野小学校と河内小学校の6年生が『令和4年度学びのプロジェクト調べて伝える広島空港』にICTを使って参加しました。制限区域内での空港見学や、空港で働くプロフェッショナルの人たちの仕事を体験しました。動物検疫や麻薬探知犬の仕事。空港を安全に楽しく利用できるよう、工夫していること。自分たちで調べたこともまとめて発表しました。審査員の方から、「クイズ形式で発表されていたので興味深く聞くことができた。想像以上に大変な仕事をしていると感想をもらい、非常に励みになる言葉がいただけよかったです。」「皆さんの生活の中にはどこかで広島空港に関わることもあると思います。その際、今日のことを思い出して、将来広島空港や航空会社で働くことの興味が芽生えてくれることを願っています。」という言葉いただきました。



河内小学校



入野小学校



小学生の感想

- ・自分たちが調べたことよりも更に詳しく調べてあり、すごいと思った。
- ・相手のことを考えてまとめるということ意識すると良い発表準備が出来ることが分かった
- ・普段入れない制限区域に入ったことや知らないことが分かったことが面白かった。

地域の皆さんお世話になります ～河内小学校～

2月3日（金）、1・2年生が万年青大学の皆さんにお越しいたき、昔の遊びを体験しました。最初に代表の宮本さんから「昔遊びを教えるというよりも、一緒に遊んで下さい。」の挨拶で会が始まりました。講師の方がプーメラン・パッチン・ぶんぶんゴマ・コマ回しの4か所の会場に分かれて、児童が各会場に移動して体験をしていきました。最初は上手くできなかったようですが、手取り足取り優しく教えてもらい、上手く遊ぶことができました。パッチンの大きな音にびっくりしたり、ぶんぶんゴマが上手く回って楽しんだ様子でした。万年青大学の人からは「要領を教えるのは難しいが、子供たちはコツさえ掴んだら自分たちより上手にやっていた。」「今の子供たちは昔遊びだけでなく、体験が少なくなっているように思うので、色々な体験をやらせてほしい。」と話されていました。



仁科さん 内貴さん 廣田さん 坪見さん 宮本さん 木村さん 井口さん 緒方さん 金谷さん

2月8日（水）、3年生が宇山地域センターの民俗資料館に行きました。地域の天野先生をゲストティーチャーにお招きし、天野先生が小学校3年生の頃の遊びや生活の様子を道具を見ながら教えていただきました。学校では石けりや花いちもんめなどで遊びますが、家に帰ると子守や田畑の仕事などをして、遊ぶことはあまり無かったそうです。おもちゃは竹トンボや水鉄砲を手作りしていたそうです。子どもたちが「どんなテレビ番組を見ていましたか。」と質問すると、まだテレビは無く、昭和元年に宇山地区に電気が来たことを話して下さいました。

生きていくのが大変な時代だった。とおっしゃった言葉がとても印象的でした。天野先生から、「子供たちに元気をもらった。今日はとても楽しかったよ。」と嬉しい話を話して下さいました。

